別冊 2

「平泉の文化遺産」に係る 経過観察記録の整備について

個票	(東稲山 (駒形嶺)) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P01
個票	(無量光院跡) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P02
個票	(観自在王院跡) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P03
個票	(達谷窟)	P04
	(柳之御所遺跡) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
個票	(長者ヶ原廃寺跡)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P06
	(白鳥舘遺跡) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
個票	(骨寺村荘園遺跡(駒形根神社)) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	P08
個票	(骨寺村荘園遺跡 (要害橋))	P09
個票	(骨寺村荘園遺跡(慈恵塚))	P10

指	抽	(1)	(1) 資産の	見覚的結びつき	の保護					
掴	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数							
測定の	の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要								
例足》	7771 4	測定する。	測定する。							
調査	場所			束稲山	(駒形嶺)					
資產	奎 名			7	^五 泉					
調査	周期		毎年(年)	1回 11月1日	Ⅰ~14 日までの	2 週間内)				
所在	生地			平泉町(大文	字キャンプ場)					
調金				調査年月日	平成 年 月	日				
景	No.	阻急	手要因	分類		具体的状況				
景観阻害要因の特定	1	なし								
害	2									
安因	3									
の 特	4									
定	5									
事特項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類 (ランク1、ランク2)※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況									
要因数	0									

写真添付欄(阻害要因を○で囲みNo.を付すこと)	
実施できず	

			 (1) 資産の視覚	的結びつきの保護				
指	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数					
		記字された相。						
測定の	の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
		測定する。						
調査	場所			無量光院跡				
資產	全名			無量光院跡				
調査	:周期			毎年				
所在	生地			平泉町平泉字花立地内				
調金	查者	平泉町	調査年月日	平成30年2月21日				
	No.	阻害要因	分類	具体的状況				
景組	1	鉄道	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み資産の位置関係の把握を阻害				
景観阻害要因	2	鉄塔	ランク 1	山稜からはみ出して景観を阻害				
吾 要	3	一般住宅	ランク 2	毛越寺方面の位置関係の把握を阻害				
\mathcal{O}	4	大規模建築物	ランク 2	毛越寺方面の位置関係の把握を阻害(ホテル武蔵坊)				
特定	5	電柱	ランク 2	視界に比較的大きく入り込み景観を阻害				
	6	一般住宅	ランク 2	資産との間に位置し景観を阻害(柳之御所遺跡方面)				
事特	※ 分類	領→阻害の程度に応	じて分類(ランク	1、ランク 2)				
項記								
更								
要因数				6				
29/								





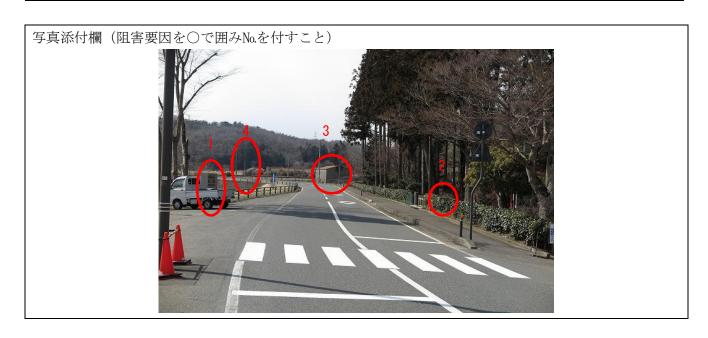
+1≤	1 ==	(1)	(1)資産の視覚	的結びつきの保護			
指	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数				
測字(の内容	設定された視	点場においてカ	メラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を			
例是	/J/1 /1	測定する。					
調査	場所			観自在王院跡			
資產	産名			観自在王院跡			
調査	周期			毎年			
所不	生地			平泉町平泉字志羅山地内			
調	查者	平泉町	調査年月日	平成30年2月21日			
景	No.	阻害要因	分類	具体的状況			
観	1	大規模建築物	ランク1	視界の中央で資産間の関係性を阻害 (ホテル武蔵坊看板)			
景観阻害要因	2	鉄塔	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み景観を阻害			
安 因	3	電柱	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み景観を阻害			
の特定	4	一般住宅	ランク 2	視界に入り込みある程度景観を阻害			
定							
事特	※ 分类		 応じて分類(ランク	1、ランク 2)			
項記	※ 具体						
要加							
要因数		4					







			(1) 答産のね	見覚的結びつき	の保護			
指	標	(1)-a	, , , , , ,					
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		阻害する要因数			
測定位	の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
例是	77 F 1 A	測定する。						
調査	湯所			達谷窟参拝	者専用駐車場			
資	産名			達	谷窟			
調査	E 周期			每	5年			
所和	在地			平泉町平泉	字北沢地内			
調	查者	平泉町		調査年月日	平成30年2月21日			
景	No.	阻害要因		分類	具体的状況			
景観阻害要因	1	自動販売機			野点			
害	2	フェンス			サビ			
要 因	3	倉庫			簡易建築			
の特定	4	電柱			色彩			
定	5							
車供	※ 分類							
事特項記	※ 具作							
要阻思数	4							



440	Loui	(1)	(1)	 資産の視覚的約	昔びつきの保護			
指	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数					
加马	の中党	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
側正	の内容	測定する。						
調査	证場所				柳之御所遺跡			
資	産名				柳之御所遺跡			
調査	正 周期				毎年			
所	在地			平泉	艮 町平泉字柳御所地内			
調	查者	岩手県教育委	員会	調査年月日	平成 30 年 2 月 13 日			
	No.	阻害要因	3	分類	具体的状況			
	1	鉄塔		ランク 1	視界に大きく入り込み資産の位置関係の把握を阻害			
景観阻害要因	2	一般住宅		ランク 1	無量光院方面の見通しを阻害 (中尊寺通りの一般住宅			
阻害	3	電柱		ランク 1	視界に比較的大きく入り込む			
要	4	鉄塔		ランク 1	山稜から上に大きくはみ出す			
\mathcal{O}	5	鉄塔		ランク 2	山稜から上にはみ出す			
特定	6	電柱		ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害			
,~_	7	鉄塔		ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害			
	8	鉄塔		ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害			
事特	※ 分類	領→阻害の程度に	応じて気	分類(ランク1、	ランク 2)			
項記	※ 具体	本的状況→形状、	色、大き	さなど阻害して	いる状況			
要因数	8							



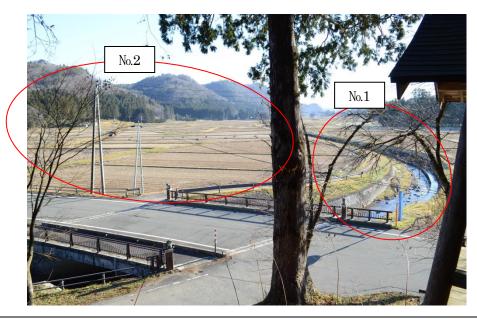
		ı							
指	標	(1)-a	(1)資産の福	見覚的結びつき	の保護				
1日	155	(1) a	a)視点場	における景観を	阻害する要因数				
ᄱᅼ	о. 1 . 1 .	設定された	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
側定り	の内容	測定する。							
調査	場所			奥州市衣川	区田中西 59-1				
資產	産名			長者ヶ	原廃寺跡				
調査	周期		毎年(年:	1回 11月1日	∃~14 日までの 2 週間内)				
所在	生地								
≕ m –		奥州市世界遺産登録推進		3m - 4- 6- 11 - 1	T N 00 F 11 F 1 F				
調金	查者	室重	重森直人	調査年月日	平成 29 年 11 月 1 日				
_	No.	阻急	手要因	分類	具体的状況				
景組	-	即士次立山		ランク 2	景観形成基準内でスカイラインに収まっているが、				
景観阻害要因の特定	1	関連資産内	り 住宅		資産から中尊寺を望んだ時に視界に入る。				
吾 要	2								
因の	3								
特字	4								
上 上	5								
車性	※ 分類	質→阻害の程度に	こ応じて分類(ラン	ノク 1 、ランク 2)					
事特項記	※ 具体	本的状況→形状、	色、大きさなど	阻害している状況					
要因数				1					
数宣									



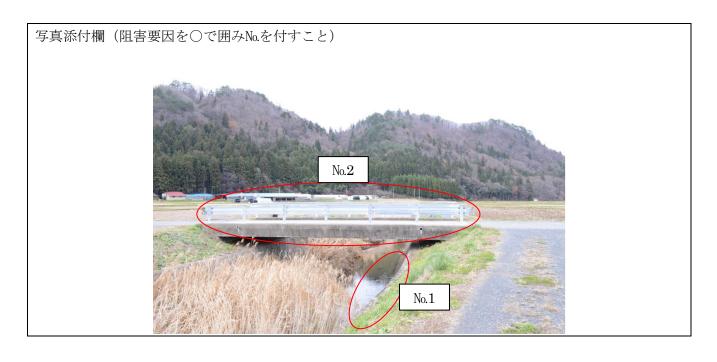
			T					
指	標	(1)-a	(1) 資産の初	見覚的結びつき	の保護			
1,4	1255	(1) a	a)視点場における景観を阻害する要因数					
測学(の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
例是	///1谷	測定する。						
調査	場所		白鳥舘遺跡付	付近(箱石橋)	から中尊寺・平泉方向の眺望			
資產	産名			白鳥				
調査	周期		毎年(年:	1回 11月1日	∃~14 日までの 2 週間内)			
所在	生地		<u> </u>	型州市前沢区字.	鵜ノ木(箱石橋)			
調金	查者	奥州市世界遺産登録推進室 及川真紀		調査年月日	平成 30 年 2 月 13 日			
	No.	阻害要因		分類	具体的状況			
観	1	なし						
景観阻害要因	2							
要 因	3							
の特定	4							
定	5							
市此	※ 分準	- 領→阻害の程度 <i>l</i>	こ応じて分類(ラン	ンク1、ランク2)				
事特項記	※ 具何							
要阻害数	0							



+12	1-1111	(1)	(1)資産の社	見覚的結びつきの	の保護				
指	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数						
測 会 /	の内容	設定された	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
例是	/// 1合	測定する。							
調查	場所			駒形	根神社				
資	産名			骨寺村:	荘園遺跡				
調査	E周期	毎年	年(年1回 10	0月1日~11月] 30 日までの2か月のうち1日)				
所在	在地			一関市厳美岡	丁字駒形 地内				
調	查者	一関市教育委員会		調査年月日	平成 29(西暦 2017)年 11 月 1 日				
景	No.	阻害要因		分類	具体的状況				
景観阻害要因	1	本寺川護岸		2	周辺と調和しないコンクリートブロック護岸				
害	2	電柱及び電線		2	周辺と調和しない電柱及び電線				
因	3								
[の特定	4								
定	5								
事特	※ 分類	質→阻害の程度に	こ応じて分類(ラン	/ク1、ランク2)					
項記	※ 具作								
要因数	2								



+1-	1 ==	(1)	(1)資産の社	見覚的結びつき	の保護					
指	標	標 (1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数							
測字(の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を								
例足り	ク内谷	測定する。	測定する。							
調査	場所			要	害橋					
資產	産名			骨寺村	荘園遺跡					
調査	周期	毎2	年(年1回 10	0月1日~11月	30日までの2か月のうち1日)					
所不	生地			一関市厳美岡	丁字要害 地内					
調	查者	一関市		調査年月日	平成 29(西暦 2017)年 11 月 1 日					
景	No.	阻害要因		分類	具体的状況					
景観阻害要因	1	本寺川護岸		2	周辺と調和しないコンクリートブロック護岸					
害	2	ガードレール		2	周辺と調和しない色彩					
安 因	3									
の特定	4									
定	5									
	※ 分類	頁→阻害の程度に	こ応じて分類(ラン	/ク1、ランク2)						
事特項記	※ 具体	本的状況→形状、	色、大きさなど	且害している状況						
	※ 今年	∓度末までに、Ν	No.2 のガードレー	ルの修景工事を実	施予定					
要阻害数	2									



+6	 ==	(1) -	(1)資産の社	見覚的結びつき	の保護			
指	標	(1)-a	a)視点場における景観を阻害する要因数					
測定/	の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を						
例是	の内谷	測定する。						
調査	場所			慈	恵塚			
資產	産名			骨寺村	荘園遺跡			
調査	周期	毎′	年(年1回 10	0月1日~11月] 30 日までの 2 か月のう	ち1日)		
所不	生地			一関市厳美町	字下真坂 地内			
調	查者	一関市		調査年月日	平成 29(西暦 2017)年	11月1日		
景	No.	阻害要因		分類	具体的状	況		
景観阻害要因	1							
害	2							
因	3							
 の特定	4							
定	5							
事特	※ 分類	※ 分類→阻害の程度に応じて分類(ランク1、ランク2)						
項記	※ 具体	本的状況→形状、	色、大きさなど	且害している状況				
要阻害数	0							

